つどい

・発行・
京都障害者
スポーツ
振興会
題字　芝田　徳造

「障がいのある子どものスポーツ教室」に参加して

深草小学校育成学級担任　菅田弘久

本校を会場校として「障害児のためのスポーツ活動を是非しましょう。」と、森田先生からお話をうかがったのは、６月に入って間もないころだったかと思います。夏休みに入ってすぐの頃を想定しているとの提案でしたので、ちょうど登校日や課外学習日を兼ねる良い機会という思惑と、いくら何でも暑過ぎる時期で、子どもたちからは歓迎されないのではないかという心配が交錯しました。開催校である本校の育成学級児童（保護者？）は当然参加に前向きでした。ただし、昼食後にオプションとして予定されているプールの時間が、本人達にとっては特に魅力的あったようでした。伏見中支部の協議会では、森田先生に開催主旨や概要の説明をしていただきましたが、すでに各校のプールの日程が決まっていたり、炎天下が予想されて中での引率事情などがあり、伏見中支部内での参加校は、意外にも伸び悩みました。三〇名前後が適当な人数であろうという見込みから、ちょうどいい具合になるような、参加呼びかけからの段取りも難しかったように思います。全市への呼びかけにより、他支部からも参加があり、偶然にも総勢三〇名近くの児童が参加する結果となりました。

当日は、予想通りの真夏日となりましたが、普段の学級の活動ではなかなか経験出来ない「ソフトボール投げ」や、他校児童と走る「五〇メートル走」なと。新鮮な体験が出来るという期待や若干の緊張からか、暑さに不満をもたらすことも無く、積極的に活動している児童の姿に感心していました。運動場では、40分程度の活動だったかと思います。いよいよ暑さもピークに達しようかという頃には、体育館に移動となり、直射日光から逃れることができました。もっとも、全市で五指に入るといわれている本校の大きな体育館ですが、朝から窓を全開していても室内の気温は相当なものでした。体育館に冷房があればと切に思いました。ここでは、卓球、卓球バレー、そして、フライングディスクの三種目を体験しました。フライングディスクについては、飛距離や的入れの記録をしてもらいました。ただ投げるのではなく、記録をしてもらうということと、それをいつもの担任ではなく、「記録員さんの方が、慎重を期しながら測定してくれているということに、児童達のモチベーションは上がり、誇らし気にもみえました。また、卓球バレーでは正式なルールを教わりながら、引率者も楽しく参加することが出来ました。

開催校としては、初めての試みでもあり、不十分なと思います。しかし。参加した児童にとっては、充実度の高い経験になったのではないでしょうか。酷暑の中ではありましたが、爽やかなスポーツを通した夏の思い出として、印象深いものとなったように感じています。参加者全員が閉会式にもらった金メダルもずっしりとしたもので、さっそく首にかけ、その重みを確かめている姿も印象的でした。

最後にスタッフのみなさんの中には、私にとって懐かしい方々が、大勢いらっしゃいました。現役の時から障害児教育に携わってこられた先輩方が、今また、このようにして育成学級の児童のために、新しい取組を果敢に実施されている姿に感動いたしました。本当にありがたく思います。この深草校は、全館バリアフリーに対応できる作りになっています。是非、来年も本校で実施して頂ければと思います。・・・そして蛇足ながら、やはりオプションのプールだけは、この時期絶対に外せない活動であったことも、あらためて確信した次第です。

《参加した子どもの声》

木の板でやる卓球は、おもしろかったです。またやりたいです。

プールが楽しかったです。

プールで、先生にほってもらって楽しかったです。

（裏面へ続く）

行事予定					来月のつどいは第493回 10／12 第2日曜日
	9月	21（日）	障害者水泳のつどい in 太陽が丘	太陽が丘プール	
		28（日）	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
			第34回全京都障害者総合スポーツ大会アーチェリー大会	南丹市日吉総合運動広場	
	10月	5（日）	第34回全京都障害者総合スポーツ大会 FD 大会	丹波自然運動公園	
	京都障害者スポーツ振興会ホームページ　TEL／FAX075－712－7010　http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/（2014年8月31日に一部更新）				

（表面より）

フライングディスクおもしろかった。

卓球が一番たのしかったです。

金メダルもらって、うれしかったです。

《引率の担任から感想》

一つ一つの種目がわかりやすくとても楽しめました。

卓球バレーやフライングディスクなど、今まで経験したことのない種目に挑戦できて良い機会でした。

内気な６年生もゆったりした気持ちで、自分のペースでスポーツをたっぷり楽しめました。

とても楽しそうで、できたときの達成感の笑顔が最高でした。

記録をとることで、参加している子どもたちのやる気が高まるのが見えた。子どもたちが、朝集合したときの顔とちがい最後はとても楽しい顔に変わっていました。

他校の子どもたちの名前が分かるように、シールなどで名札があるとよかった。

もっとレクレーションゲームなどがあれば、コミュニケーションが図れたのではないか。

《保護者の方からの感想》

盛りだくさんのメニューで特にルールのある遊びに子どもがどう取り組んでくれるのか（理解できるかどうか）興味を持って見学させて頂きました。とても楽しく参加できた様子で良かったです。是非また機会があれば参加させていただきたいなあと思いました。他にも色々ルールのある遊びを知ってほしいと思うのですが家庭では、なかなか教えるのが難しいといつも思っています。短距離走を、思い切り走るとか単純なことも教え方があれば・・・と思っています。

「参加ありがとうございました。」

ー「雨・風の中開催のつい報告」ー

スポーツのつどい専門部長　辻井　武

さる、８月10日（日）は、大型で強い台風11号が全国に被害をもたらしました。

第４９１回障害者スポーツのつどいは、開催されました。雨・風は強かったものの、27名の方々が参加してくださいました。

前日より当日朝まで、「明日、つどいありますか？楽しみにしているのですが…。」という電話を何件かいただきました。「このような天候にもかかわらず、つどいを楽しみにしていただいているのだな。」とスタッフ一同胸が熱くなりました。

この日のつどいは、初参加の方も数人おられました。「前から、来よう来ようと思っていて、ようやく都合がついてきました。従兄弟と来たのですが、自分のペースで、ストレッチやダンスを楽しめました。次回は皆さんのされる種目にも参加してみようかなと思いました。」とおっしゃりました。改めて「自分のペースで楽しめるのがつどいの良さの一つなんだなあ。」と感じました。

また、ある親子は「久しぶりに寄せていただきました。二度目です。前回はトランポリンだけでしたが、今回はどの種目も待たずにできたのでいろいろな種目をやらせてみました。それなりに楽しめていたので、次回もいろいろ経験させてあげたいなと思いました。」とおっしゃっていました。

ある参加者は「車いすハンドボールを楽しみに来ました。人数が少ないのでゲームができるか心配していましたが、スタッフの声掛けで、普段やらない人も『やってみよう！』と思われたのか人数が集まってゲームができて楽しかったです。」

終わって感じたことは、人数が少なく寂しかったのですが、つどいの「いいところ」を改めて感じました。

自分のペースで楽しめる。いろいろな種目を選んで体験できる。

声かけあってベテランも初心者も一緒に楽しめる。

参加していただいた皆さん本当にありがとうございました。

「障害者スポーツのつどい」ボランティア体験会

○日時　11月9日（日）
１２：３０～１６：３０

○場所　京都府立体育館
（京都市北区大将軍鷹司町）
電話：０７５（４６２）９１９１
Ｅメール：
taikukan@pref.kyoto.lg.jp

○目的
「障害者スポーツのつどい」のボランティアを体験する。

○対象
（障害のある方々と一緒にスポーツを楽しもうという方）

「障害のある方と関わってみたいけれど、どう関わっていいかわからない。」という方。ご安心ください。スポーツを一緒にすることで自然に関われ、関わる楽しみが味わえます。「障害のある方とスポーツを通じて関わりたい方」「障害のある方のスポーツ場面を支えたい方」体験会参加をお待ちしています。

「ボランティアになろうかどうか迷っている方」先ず体験してからボランティアになるかどうかは考えられてはいかがですか？年齢・障害のあるなしは問いません。（現在のボランティアは子どもから高齢者まで年齢様々・障害のあるボランティアも活躍中です。）

○応募方法と締切
府立体育館に電話でお申し込みください。
締切は11月８日（土）15時まで

○当日の主な流れ
①１２：３０～
つどいについての説明
②１３：２０～
当日ボランティア全員の打ち合わせ
③１３：３０～
ボランティア体験
④１６：００～
感想話し・情報聞く。